

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【公表番号】特表2014-526456(P2014-526456A)

【公表日】平成26年10月6日 (2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2014-529039(P2014-529039)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/403 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/606 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/403

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/606 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月29日 (2015.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

p 5 3 機能欠損細胞を含む過剰増殖性障害の治療に医薬として用いるための、
s i R N A 分子、D s i R N A 分子、人工 m i R N A 前駆体、s h R N A 分子、アンチ

センスオリゴヌクレオチド、及びリボザイムからなる群から選択される少なくとも１種のＣＩＰ２Ａサイレンシング剤、及び

ＰＫＣ－４１２、ＰＡＲＰ阻害剤ＩＩＩ、インドール－３－カルビノール、シスプラチン、ラパマイシン、ＴＧＸ－２２１、ＮＵ－７４４１、Ｓ３１－２０１、及びゲムシタピンからなる群から選択される化合物を組合せて含む医薬。

【請求項２】

前記ＣＩＰ２Ａサイレンシング剤が、配列番号１から２５、及び配列番号１から２５と少なくとも８０％の配列相同性を有し、そのＣＩＰ２Ａ活性を保持している配列からなる群から選択される核酸配列を含む請求項１記載の使用のための医薬。

【請求項３】

乾癬、心筋肥大、良性腫瘍、固形がん、及び血液がんからなる群から選択される過剰増殖性疾患の処置に用いるための請求項２に記載の医薬。

【請求項４】

前記固形がんが、頭頸部扁平上皮がん、大腸がん、胃がん、乳がん、卵巣がん、前立腺がん、子宮頸がん、食道がん、肺がん、肝がん、脳がん、神経膠腫、星状細胞腫、及び膠芽細胞腫からなる群から選択され、及び前記血液がんが、急性及び慢性Ｔ細胞及びＢ細胞白血病及びリンパ腫からなる群から選択される請求項３の使用のための医薬。

【請求項５】

請求項１から４のいずれか一項に記載の組合せ及び少なくとも一つの薬学的に許容可能な担体を含む医薬組成物。

【請求項６】

p５３機能が欠損している過剰増殖性細胞を化学療法剤に対して感作させる方法であって、s i R N A分子、D s i R N A分子、人工m i R N A前駆体、s h R N A分子、アンチセンスオリゴヌクレオチド、及びリボザイムからなる群から選択される少なくとも１種のＣＩＰ２Ａサイレンシング剤、及び、ＰＫＣ－４１２、ＰＡＲＰ阻害剤ＩＩＩ，インドール－３－カルビノール、シスプラチン、ラパマイシン、ＴＧＸ－２２１、ＮＵ－７４４１、Ｓ３１－２０１及びゲムシタピンからなる群から選択される化合物を投与して、そのような感作を必要とするヒト又は動物対象におけるＣＩＰ２Ａ遺伝子をサイレンシングすることによる、上記方法。

【請求項７】

p５３機能が欠損している細胞を含む過剰増殖性疾患の治療を必要とするヒト又は動物対象における該疾患を治療方法するための、請求項５に記載の医薬組成物であって、s i R N A分子、D s i R N A分子、人工m i R N A前駆体、s h R N A分子、アンチセンスオリゴヌクレオチド、リボザイムからなる群から選択される少なくとも１種のＣＩＰ２Ａサイレンシング剤、及び、ＰＫＣ－４１２、ＰＡＲＰ阻害剤ＩＩＩ、インドール－３－カルビノール、シスプラチン、ラパマイシン、ＴＧＸ－２２１、ＮＵ－７４４１、Ｓ３１－２０１及びゲムシタピンからなる群から選択される化合物を、併用して、同時に又は逐次に該対象に投与することによる、上記医薬組成物。

【請求項８】

前記ＣＩＰ２Ａサイレンシング剤は、配列番号１から２５、及び前記配列番号１から２５に少なくとも８０％の配列相同性を有し、そのＣＩＰ２Ａサイレンシング活性を保持している配列からなる群から選択される核酸配列を含む請求項５に記載の医薬組成物。

【請求項９】

乾癬、心筋肥大、良性腫瘍、固形がん、及び血液がんからなる群から選択される過剰増殖性疾患の処置に用いるための請求項５に記載の医薬組成物。

【請求項１０】

前記固形がんが、頭頸部扁平上皮がん、大腸がん、胃がん、乳がん、卵巣がん、前立腺がん、子宮頸がん、脳がん、神経膠腫、星状細胞腫、及び膠芽細胞腫からなる群から選択される、請求項５に記載の医薬組成物。

【請求項１１】

がん療法を必要とする対象のためのがん療法を選択する方法であって、該対象から得られる試料中の C I P 2 A 及び p 5 3 発現及び / 又はタンパク質活性を評価し、及びサンプルが C I P 2 A 発現及び / 又は活性が陰性であり、 p 5 3 活性が欠損である対象のために少なくとも 1 種の化学療法剤による単一療法を選択し、及びサンプルが C I P 2 A 発現陽性であり、 p 5 3 活性欠損である対象のための療法として請求項 1 に記載の組合せを選択することを含む上記方法。

【請求項 1 2】

前記対象が請求項 5 又は 6 で定義づけられる疾患を被る対象である、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 に記載の方法を実行するための試薬を含むキット。